

2023 年度 第 2 回 環境共生部会 レジメ

日時：2023 年 7 月 4 日（火） 15：00～16：30

場所：OBP 協議会事務局（zoom 併用）

【議 題】

1. 簡易 AEMS の継続に関する検討について

2. OBP Blooming Place 植花活動について

- ① 今後の進め方について
- ② 啓発看板の設置について
- ③ OBP Blooming Place の維持管理報告（6 月分）について
別紙「植栽運営維持管理報告」のとおり

3. ワーカー交流事業の実施に関する検討について

4. その他

以上

次回 第 3 回 環境共生部会開催予定

日時：2023 年 8 月 1 日（火） 15：00～16：30

場所：OBP 協議会事務局（zoom 併用）

第2回 環境共生部会

【資料】

日時：2023年7月4日（火）15:00～16:30

場所：OBP事務局＋オンライン（Zoom）

■ 目的 環境共生まちづくりの推進 ～省エネ・省資源化のモデル都市

1. 地域エネルギーシステムの構築
2. 省エネ・省CO2技術の実証及び普及
3. 低炭素型ライフスタイルの実証及び普及

■ 検討スケジュール

中期3カ年計画案
(2015年10月14日)



■ 2018年度の事業内容（案）

- ① 地域エネルギーのアンケート調査を2年実施し、エネルギー消費量の動向及び各ビルの取り組みを把握
→入力項目を絞り、5年間月毎のアウトプットを出す簡易AEMSを導入・運営（2018年度から5年間、**税込108万円**で推進予定）
- ② 地域デマンドレスポンスについては、推進されている実証事業等を把握
→2018年度も継続して情報を把握しながら、OBP地区での実証事業等の可能性を検討
- ③～⑤ V2X及びソトコミ実証、余剰地下水等事業については実証事業終了
→2018年度地域エネルギー分科会の中で、OBP地区での実証事業等の可能性を検討

■地域エネルギー情報収集のこれまでの取り組み状況

・OBP協議会活動の三本柱のひとつ「環境共生」取組みとして、2011年度（データは2010年）の行った環境省実証で実施したアンケート内容をベースに2016年度（データは2015年）に地域エネルギー情報の調査を実施。2010年からの5年間で行った地域におけるエネルギー削減の取り組みの成果を確認すると共に、対外的にその成果を他の地区に先駆けて発表している。また、2017年度も調査を実施し、今後のエネルギー削減取組みへの方向性を検討することとしている。

・今後の「環境共生」取組みの方向性の一つとして、デマンドレスポンス事業やネガワット取引、分散型エネルギーの活用等、将来的には地域全体としての取り組みを実施をにらみながら、協議会メンバーで情報共有し議論を行っている状況。

・協議会会員としては、単体ビル事業者として、法的に必要な省エネ計画書等の作成に活用し、各ビルで行っている具体的な取り組みの知見を深めることに繋げる。

■簡易AEMS（Area Energy Management System）のシステム導入の目的

180404修正

①エリアのワーカーに対する環境共生の気づきのきっかけとなる

取組み手間を最小化し、頻度を月単位とすることで、対外的に地域から発信する情報量を増やし取組みを強化

②OBP協議会の地権者・テナントの環境共生活動のプラットフォームとなる

本システムが協議会メンバーが継続して協力し、情報を共有するプラットフォームとして、将来的には地域全体としての取り組みにつながる一つの仕組みとして機能させつつ、メンバー間の情報交換・ノウハウ共有を並行して継続させる。

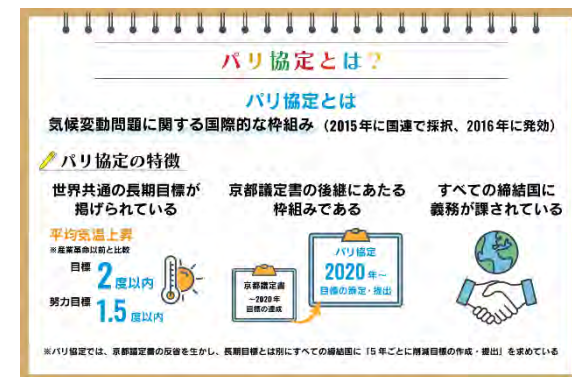
③最小限の手間でできるだけ効果的なシステムを構築する

現在予定している予算のほぼ範囲内（税込108万円）で、現在毎年かかっているアンケート調査を簡略化し、集計を自動化することで、参画企業関係者の取り組み手間と毎年のコンサル調査費（50万円/年）を削減する。

AEMS事業継続の意義について

■世界的な脱炭素の動き、関西圏での動き

- ・2020年10月、政府は**2050年までに**温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、**カーボンニュートラルを目指すことを宣言**。
 - ・地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けて、2015年に**パリ協定**が採択され、世界共通の長期目標として、「**世界的な平均気温上昇を工業化以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求すること（2℃目標）**」
「今世紀後半に温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と吸収源による除去量との間の均衡を達成すること」等を合意。
 - ・グランフロント大阪では、2022年9月より関西エリアにおける大規模複合用途建物では初めて、**使用する全電力をCO2フリーの再生可能エネルギー由来電源※に切り替え**、2020年度実績値でCO2削減量は年間25,298トンとなっている。
- ※ 関西電力が非化石価値取引市場で調達し、
トラッキング付化石証書が付与された「RE100」対応の電力



■簡易AEMS（Area Energy Management System）の継続の意義

①エリアのワーカーに対する環境共生の気づきのきっかけとなる

2018年時の継続

取組み手間を最小化し、頻度を月単位とすることで、対外的に協議会から発信する情報量を増やし取組みを強化

この部分が弱い

②OBP協議会の地権者・テナントの環境共生活動のプラットフォームとなる

2018年時の継続

本システムが協議会メンバーが継続して協力し、情報を共有するプラットフォームとして、将来的には地域全体としての取り組みにつながる一つの仕組みとして機能させつつ、メンバー間の情報交換・ノウハウ共有を並行して継続させる。

③最小限の手間で継続が可能

OBP内でのディスカッションを実施検討
（2018年に実施した水平展開の会）

アンケート調査を簡略化し集計を自動化することで、参画企業関係者の取り組み手間を削減。なくすとアンケート調査の手間と集計で1回50万円程度の業務費用になる。

→現在の仕組みを継続する場合はサーバー使用料（月1万円）程度と想定（確認要）

■建物の追加、2010年比の見直し、データセンター等の守秘性の高い建物の取扱いの変更

- ・山王美術館（2022年9月開業）の追加
- ・2010年以降に新築されたビルは基本2010年比の試算からは外す
→KDDI第2ビル(2015.7)、オプテージビル（2018.1）、読売テレビ（2019.8）、京阪神OBPビル（2021.4）
- ・KDDI第1ビル、第2ビルの取扱いについて個別に相談が必要

■集計・検証手間の見直し

- ・システム会社の手入力でデータを移している状況のため、今後システム会社の工数と時間（約2週間～1か月程度）がかかってしまうところを、ワンタッチでエクセルでマスターファイルを吐き出せる仕様にしたい
- ・企画グループですぐに触れるようにして、できるだけタイムリーに報告できる仕組みづくりをしたい

植花活動の今後の取組みの方向性について

■ 中期3か年計画の基本方針（抜粋）

● テーマ「OBPの特性を活かした価値創造に向けた活動指針の再構築」

特性②豊かな水と緑、近代的ビル群が織りなす都市空間

パークアベニュー沿道の並木や河川公園・公開空地を軸とした緑化空間の魅力向上

● 環境共生の実現

- ・ 生物多様性に富んだ環境づくり
- ・ ワーカーのための快適空間づくり など

■ 2021年度・2022年度の取組み概要

● OBP Blooming Placeの造園

- ・ 2021年度 城見交差点 欒根元 4 升、寝屋川沿い10㎡
- ・ 2022年度 城見交差点 欒根元 4 升（合計8升）、寝屋川沿い15㎡（合計25㎡）

● 映画上映会『FIVE SEASONS』&トークサロンの実施

【開催内容】

- ・ NY市の高架線路跡の公園「ハイレイン」など手がけた世界的に有名なオランダのガーデンデザイナー「ピート・アウドルフ」のドキュメンタリー映画の上映を通じて、OBPのナチュラルスティックガーデン・「OBP Blooming Place」によるまちづくりのコンセプト紹介と広報
- ・ トークサロン講師：株式会社グリーンチーム代表 月ヶ洞利彦氏

【開催結果概要】

- ・ 開催日：2022年11月2日（水）
- ・ 参加者数 合計86名（会場参加：25名、オンライン：61名）

■ 2023年度の取組みの方向性（案）

1.OBP Blooming Placeについて

案の1

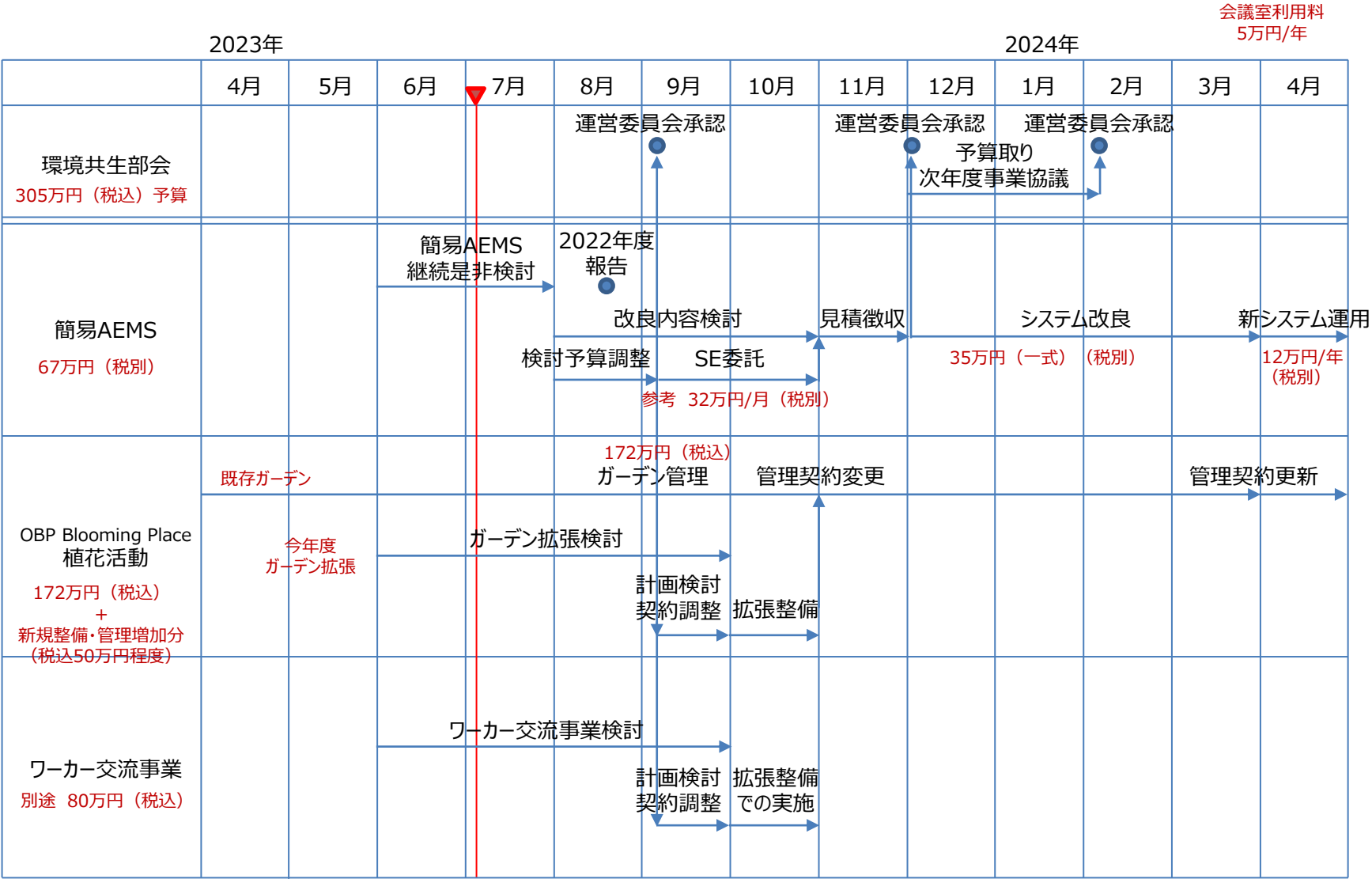
- パークアベニューの起点となる場所に新規に造園する案
 - A) 大阪城京橋プロムナード南詰（OBP看板付近にポット設置。大阪市の占用許可が必要）
 - B) 読売テレビ、ホテルニューオータニ大阪前（地権者等の了解が前提）
- 実施効果
 - A) 中期計画の基本方針の方向性に合致
 - B) 人流の起点となる場所にガーデンを設置によえるPR効果で事業価値を高める など

案の2

- 2023年度は花壇は現状維持としつつ、現在大阪市と調整中の「まちなかウォーカブル推進事業」の調整状況を認定を待って改めて検討する。
（参考）まちなかウォーカブル推進事業
交付対象事業費：2.5百万円（国費：1.3百万円）国費率：50%

課題

- 上記案の1、2 又は他の案を採る場合においても下記課題への対応と検討が必要
 - A) OBP Blooming Placeの認知度の向上とファンづくり
 - ➡ 2023年度も継続実施したいと考える。企画案（素案）については別紙を参照
 - B) 地権者の維持管理の負担
 - C) 造園コストと維持管理費の中長期的な見込み
（参考）・ 2023年度維持管理委託費：1,753,400円（税込み）
・ 一年草の見直し など

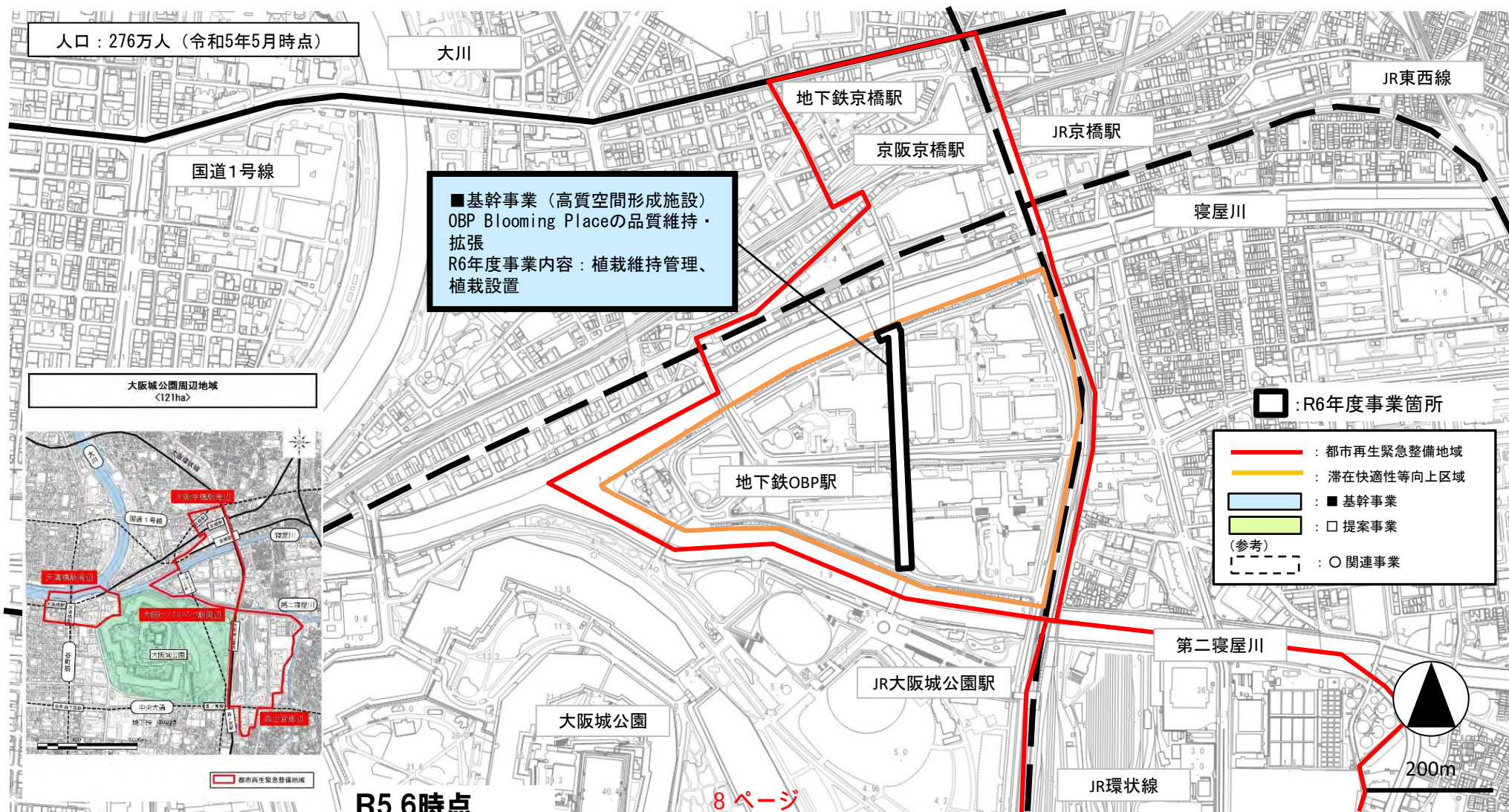


おおさかびじねすぱーく
大阪ビジネスパーク地区まちなかウォーカブル推進事業(大阪府大阪市)

◆事業概要:ターミナル駅である京橋駅と大阪城公園との緊密な連携をはかるため、公開空地(都市施設部)、河川空間(大阪府アドプトリバー制度、大阪市ふれあい花壇制度適用)を活用したOBP地区のメインストリートを中心としたナチュラリストックガーデン「OBP Blooming Place」の整備・運営事業。

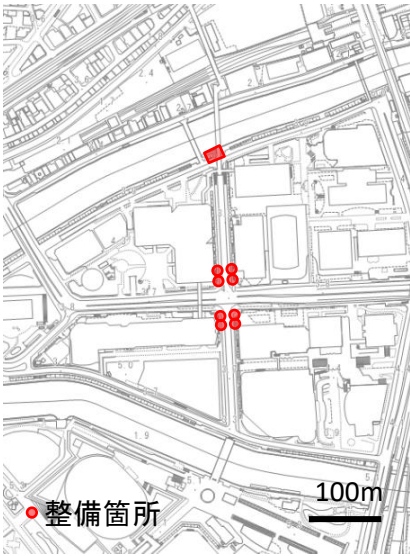
◆事業主体:一般社団法人大阪ビジネスパーク協議会 ◆面積:26ha ◆滞在快適性等向上区域26ha ◆交付期間:令和6年度～令和10年度

◆全体事業費:2.5百万円 ◆交付対象事業費:2.5百万円(国費:1.3百万円) ◆国費率:50%(まちなかウォーカブル推進事業関連)



「OBP Blooming Place」整備運営事業

- 一般社団法人大阪ビジネスパーク協議会では、大阪を代表するビジネス街である大阪ビジネスパーク（OBP）地区において、大阪城公園と一体となった公園の中のビジネス街を目指し、京橋エリアと大阪城公園エリアをつなぐOBPのメインストリッドであるパークアベニューを、先行して整備されている民地内の滞在空間と合わせて新たなビジネス空間・ワーカーの憩いの空間の利用を促進するため、高質な植栽空間及びその運営管理を実施している。



(寝屋川沿道緑道)
・大阪府アドプトリバー制度及び大阪市ふれあい花壇制度を活用し、制度の最大面積である25㎡を活用したダイナミックなナチュラルスティックガーデンを整備

(城見一丁目交差点)
・寝屋川沿道緑道で展開されているガーデンの要素を交差点の4つ角でそれぞれ異なるテーマを設定したまちかどガーデンを整備

	整備時期	場所
寝屋川沿道緑道 (河川・公園空間)	令和3年10月 令和4年10月	京橋プロムナード下の河川・公園空間（1か所・25㎡）
城見一丁目交差点 (都市施設部)	令和3年10月 令和4年10月	城見一丁目交差点（8か所）

寝屋川沿道緑道

従前



整備後



城見一丁目交差点

従前



整備後



人が心地よいと感じる色合いを組み合わせ、自生している自然の風景を模したデザイン「ナチュラルスティックプランティング」を採用し維持管理を実施

- 宿根草とオーナメンタルグラスをメインとする「ナチュラルスティックプランティング」を採用し、これまでに見られなかった自生している自然の風景を模したデザインで植栽
- 現在80種類以上の草花を管理しており、四季折々の景観を形成しワーカーや来訪者の目を楽しませている

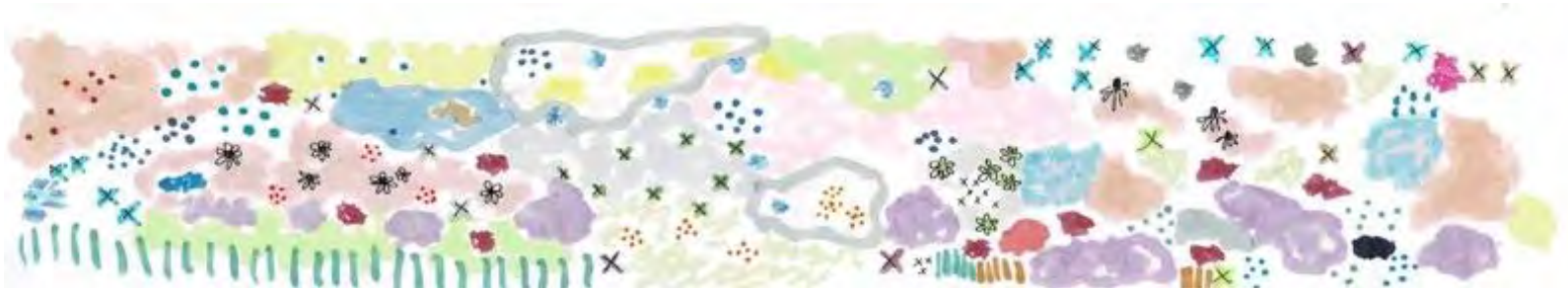
⚠ 花壇の中には入らないでください ⚠

この花壇は、大阪府・市の許可を得てOBP協議会が専門のガーデナーと一緒に維持管理をしている花壇です。

80種類もの宿根草を組み合わせたナチュラルスティックガーデンで、季節ごとに見所がある花壇です。宿根草がみせる自然で独特な色彩と質感を季節変化とともに楽しみみてください

一般社団法人大阪ビジネスパーク協議会

お問い合わせ 06-6946-1310



⚠ 花壇の中には入らないでください ⚠

この花壇は、大阪府・市の許可を得てOBP協議会が専門のガーデナーと一緒に維持管理をしている花壇です。

80種類もの宿根草を組み合わせたナチュラルスティックガーデンで、季節ごとに見所がある花壇です。宿根草がみせる自然で独特な色彩と質感を季節変化とともに楽しみみてください

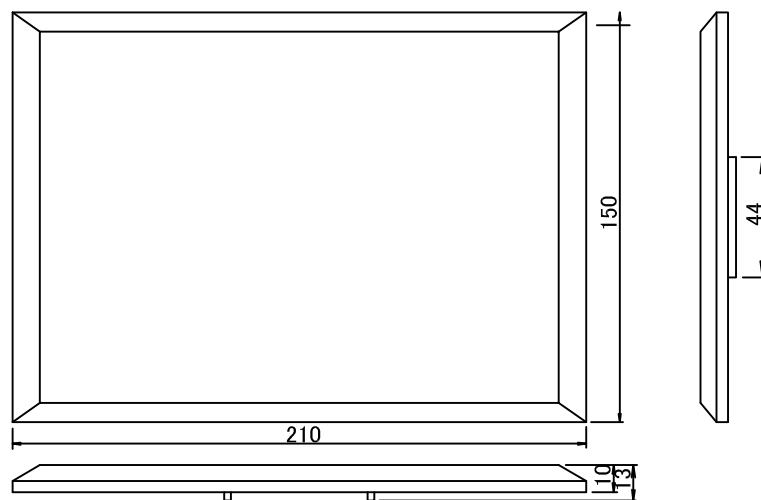
一般社団法人大阪ビジネスパーク協議会

お問い合わせ 06-6946-1310



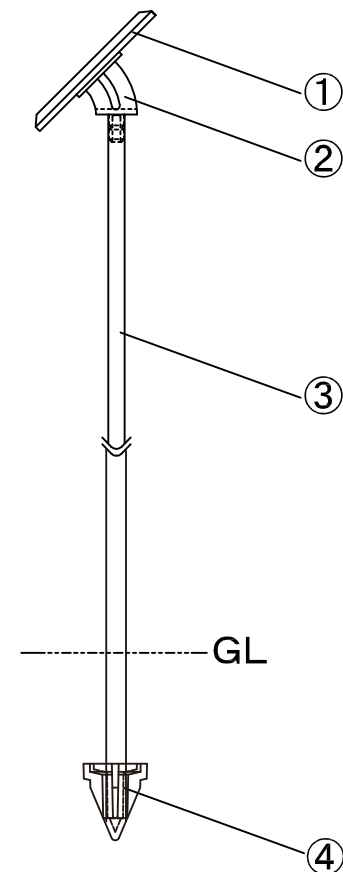
■大型樹名札 ステンレスポール

樹名札 MN-21 大型樹木名板
210X150X10mm



樹名札ジョイントポール

P-10	1000X ϕ 12Xt0.5mm
P-7	700X ϕ 12Xt0.5mm
P-5	500X ϕ 12Xt0.5mm



- ① 樹名札
- ② ジョイント
- ③ ポール
- ④ アンカー



御 見 積 書

令和 5年 6月 1日

一般社団法人大阪ビジネスパーク協議会 様

■件 名 注意看板製作
■金 額 消費税別途

株式会社アスコット
代表取締役 磯島 朝子
神奈川県横浜市中区扇町2-4-5-201
TEL.045-222-0215

品 名 ・ 仕 様	数量	単位	単 価	金 額
1) A5サイズ注意看板 W210×H150mm	2	枚	4,800	9,600
ベース:ABS樹脂				
表示面:屋外用インクジェットシート				
支柱:φ12×L1000mm ステンレス製	2	本	1,600	3,200
送料	1	式		1,800
A5サイズ注意看板 計				14,600
2) A4サイズ注意看板 W300×H210(W210×H300)	2	枚	8,100	16,200
ベース:アルミ複合板3.0t+ABS樹脂				
表示面:屋外用インクジェットシート				
支柱:φ12×L1000mm ステンレス製	2	本	1,600	3,200
送料	1	式		2,000
A4サイズ注意看板 計				21,400
3) A4サイズアルミ製注意看板 W300×H210	2	基	13,000	26,000
表示板:アルミ複合板3.0t				
表示面:屋外用インクジェットシート				
支柱:25×25×L1300mm アルミ角柱				
送料	1	式		3,000
アルミ製注意看板 計				29,000

【備 考】

- ※上記金額に消費税は含まれておりません。
- ※表示面デザイン費は含みます。
- ※A4サイズの看板は、縦型でも横型でも製作可能です。

OBP 協議会の植花活動 植栽運営維持管理報告

2023 年度 6 月管理報告				
巡回実施日	2023.6.4 (日)	2023. 6.10 (土)	2023. 6.16 (金)	2023. 6.23 (金)
実施時間	AM9 : 15~PM14 : 30	AM10:55~PM13:50	AM11:40~PM16:10	AM10 : 25~PM14 : 30
天候	はれ	くもり	はれ	くもり
気温	26℃	26℃	27℃	27℃
ツイン 21(NW)	・ナデシコ、ラベンダー、キンギョソウ、デルフィニウムの花がら摘み、カレックスの剪定、スティパの穂を抜く作業を実施しました。特にラベンダーの花がらが多くありました。降雨もあったため水切れはしていませんでしたが、灌水フォローを行いました。	・一昨日しっかりと雨が降ったこともあり、水切れはない様子でしたので、灌水フォローはしていません。 ・ナデシコ、ラベンダー、キンギョソウの花がら摘みを実施しました。 ・水切れで枯れかかっていた切り戻していたバーベナサントスの新芽が出ていました。	・櫟の落葉、ゴミ除去とナデシコ、ラベンダー、キンギョソウの花がら摘みを行いました。たっぷりと灌水フォローを行いました。	・櫟の落葉、ゴミ除去、ナデシコ、ラベンダー、キンギョソウの花がら摘み、各花苗の枯葉除去を実施しました。水切れはありませんでしたので灌水フォローは行いませんでした。 ・花がら摘みで一度花がなくなったナデシコでしたが、花が復活してきました。
松下 IMP (SW)	・ホスタ等の葉に車の排気ガス等の黒い目立った汚れをブラシで擦り除去しました。灌水フォローを行いました。 ・ホスタに蕾がついています	・花壇に落下した櫟の小枝、ヒューケラの枯葉除去とヒューケラの花がら摘み、防虫剤散布を実施しました。水やりは実施していません。	・櫟の落葉除去、ヒューケラ等の枯葉除去を行いました。 ・ホスタ等の葉の排気ガス等の黒い汚れの残りをブラシで擦り除去しました。たっぷり灌水フォローを行い、特に葉っぱにもしっかりと水をかけました。	・櫟の落葉除去、ヒューケラ等の枯葉除去を行い、水切れはありませんでしたので灌水フォローは行いませんでした。
住友生命 (SE)	・中身入りの飲料の缶が捨てられていました。エキナセア、サルビアの花がら摘み、スティパの穂抜き、枯葉除去を実施し灌水フォローを実施しました。	・雑草除去、サルビアの花がら摘み、スティパを少し剪定し、防虫剤散布を実施し、灌水は行いませんでした。	・櫟や周辺樹木の落葉、ゴミの除去、エキナセアの花がら摘み、その他の花苗の枯葉除去を行い、たっぷり灌水フォローも行いました。	・落葉、雑草除去、エキナセア、コレオプシス、サルビアの花がら摘み、シクラメン、ベルゲニアの枯葉除去、サルビアの剪定を実施しました。灌水フォローは行っていません。

OBP 協議会の植花活動 植栽運営維持管理報告

富士通（NE）	・ゲラニウム、エキナセアの花がら摘み、枯葉除去実施し、灌水は実施しませんでした。 ・エキナセアサンシーカーマジエンダが開花しました。	・各種枯葉除去とエキナセアミニベルの花がら摘み、防虫剤散布を実施し、灌水は行いませんでした。	・櫟の落葉、ゴミの除去とゲラニウムの花がら摘み、その他花苗の枯葉除去を行いました。日常の灌水がしっかりやってくさっているの、灌水フォローはしませんでした。 ・フロックスが開花しました。エキナセアの花を切られる被害がありました。	・ゴミ除去、エキナセア、オダマキ、ゲラニウムの花がら摘み、その他花苗の枯葉除去を行いました。灌水フォローは行っていない。
寝屋川沿い	・吸殻ゴミ、周辺常緑樹の落葉除去、ペロニカ、ペンステモン、ゲラニウムの花がら摘みを行いました。雨降りの日もあり、乾燥していないエリアは、水やりをせず、雨のかからないエリアのみたっぷりと灌水を行いました。 ・先週に引き続き、雨が降った場合に歩道橋の縁から水が垂れるエリアの土が削れ流の、様子を確認し、部分的に腐葉土でマルチングをしました。 ・土留に貼られていた赤いテープと黒いテープを除去しました。 ・プランツネームタグ（花の名札）を数枚設置してみました。	・吸殻ゴミが普段より少なかったです。雑草除去、枯葉除去、周辺樹木の落葉除去とアキレア、ペロニカ、ゲラニウム、オダマキなどの花がら摘み、全体に防虫剤の散布を行いました。また、アスターやサルビアアズレアなど、秋に咲く花の切り戻し剪定を行いました。雨のかからない歩道橋の下のエリアのみしっかりと灌水を行いました。 ・周辺企業の社員証をつけたのワーカーの方より、「お花の道にするのですか。他にはない変わった花がたくさんありますね。」という好意的なお声をいただきました。	・周辺樹木の落葉、吸殻ゴミ等の除去、セントランサス、スカビオサ、ゲラニウムの花がら摘み、その他宿根草の枯葉除去、オダマキの剪定、全体的な防虫剤散布を行いました。 ・エキナセアマグナススーパーリア、サザンベル、アリウム丹頂、ルドベキアゴールドスターム、プレーリーグロー、アガスターシェブルーフォーチュンなど多くの花が開花しています。	・周辺樹木の落葉除去、平日実施のため多かった吸殻、空き缶等のゴミを除去しました。エキナセア、ダウクス、ペロニカの花がら摘み、スカビオサ、アキレアなどが雨で倒れないよう剪定をしました。風通し確保、群れ防止、株の体力消耗を防ぐ効果があります。 - 雨のかからないエリアを中心に全体にたっぷりと灌水を行いました。 ・アリウム メデューサズヘアの開花が始まりました。

OBP 協議会の植花活動 植栽運営維持管理報告

ツイン 21 (NW)  6/4	 6/10	 6/23
ツイン 21 (NW2)  6/4	 6/10	 6/23
松下 IMP (SW)  6/4	 6/10	 6/23
松下 IMP (SW2)  6/4	 6/10	 6/23
住友生命 (SE)  6/4	 6/10	 6/23

OBP 協議会の植花活動 植栽運営維持管理報告

住友生命 (SE2)  6/4	 6/10	 6/23
富士通 (NE)  6/4	 6/10	 6/23
富士通 (NE2)  6/4	 6/10	 6/23
寝屋川沿い第 1 期シーズン 2  6/4	 6/10	 6/23
寝屋川沿い第 2 期シーズン 1  6/4	 6/10	 6/23

OBP協議会 御中

ワーカー交流事業 企画書
2023年度

2023.6.27
株式会社まなれば
Ver.1

【2022年度】

昨年の第1回ワーカー交流事業では、2021年からOBP協議会のまちづくり事業として開始した植花活動、「OBP Blooming Place」を広く普及することを目的として実施しました。

OBP内外から123名の方から参加応募があり、OBP Blooming Placeのコンセプトやめざす街のあり方を理解して頂けるイベントとなりました。

（アンケート結果からOBP Blooming Placeの認知度は高くはなく、引き続きの取組みが必要と考えられる。）

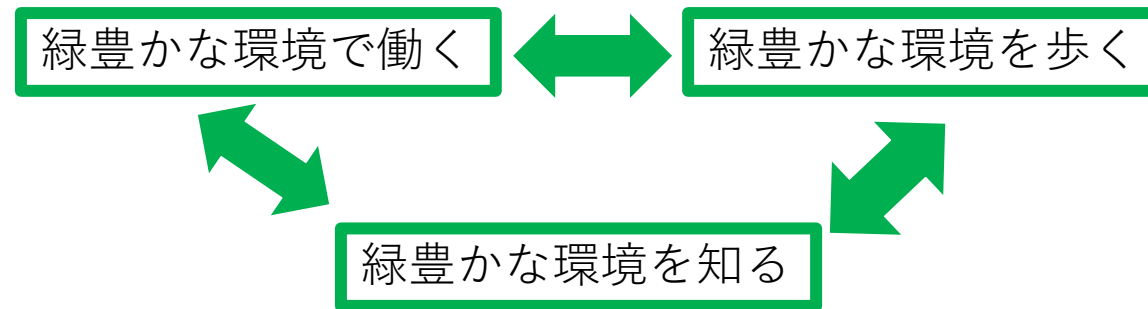
【2023年度】

今回、さらに精度を上げてOBPで勤務する方にも認知して頂けるよう、イベントに参加型で「OBP Blooming Place」をPRする仕組みを盛り込みます。

前回、開催した活動した経験をふまえて今回は実際に現地へ足を運んでもうらえるような、カジュアルなイベント仕立てにします。

将来的には、ワーカーの方々が何らかの形でOBP Blooming Placeに直接関わることを目指して、そのきっかけとなるようなイベントを実施することをめざします。

「健康」 × 「環境(緑化)」



目的 | ワーカー交流事業

緑と共にOBPがあることをPRする活動にする。
オフィス街でありながらも、水と緑が豊か、そして大阪城が隣接する**OBP**は唯一無二である。
そのことを、事業を通じて実際に歩いてみることで改めて実感して頂く。



OBPが、大阪城を含めて緑豊かで「歩けるまち」であること、
「公園の中のビジネス街」であることを再認識



OBP協議会の活動である「**OBP Blooming Place**」をPR
できるような仕組み



OBPの豊かな公的空間の活用・OBPならではの交流空間の創出

【城まちエリア <ガーデンウォークラリー>】

【内容 (仮)】

- ・ゲーム感覚で楽しめるガーデン巡り
- ・3つほどのウォーキングコースを用意し、集めたガーデンスポットの個数に応じて景品が抽選で当たる
→ 大阪城を含めたOBP、OBP内、ガーデンのみ など
- ・外せないポイント(OBP Blooming Place)は、どのコースにも必須ポイントとする
- ・一定の開催期間を設けて、好きな時に気軽に参加できる (通勤時・ランチ途中など)
- ・ウォークラリーを通して、**OBP**のまちを知るきっかけにする

【仕掛け案】

- ・クロスワード形式
- ・ビンゴ形式

【参加方法】

- ・Instagram(公開アカウント)でハッシュタグをつけて投稿
- ・景品に当選した方は、城まちosakaからDMからご連絡



【スマホで美しく撮影する写真講座】

【内容（仮）】

写真の撮影会を実施し、スマホで美しい写真の撮り方やポイントをプロカメラマンから学ぶ。
実際に、ガーデンウォークラリーのスポットを何箇所か巡り事業に参加できるようにする。

※参加：投稿を条件に参加費は無料